



ふくいん でんどう さくひん

げつようび

黙示 1章 3節

この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。時が近づいているからである。

神様は福音がある所にすべてのことを集めてくださいます。これは、伝道が成される所ならば、政治、経済、社会、文化など、すべてのことを現場の祝福として与えてくださるということです。聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、このように祝福される道を知っていました。なので、神様のすべての答えを味わうことができたのです。

私たちが聖書のレムナント7人のように、神様の確かな夢を握らなければなりません。私にとっても大きな問題があるとすれば、それはとても大きな夢をかなえる機会になります。契約（Covenant）に従って、神様がくださるビジョン（Vision）を握って、人生作品をつくることができますからです。まず、問題を通して発見できたビジョンにおいて、神様がくださる夢（Dream）を発見するようになります。そして、その夢を実現（Image）するために必要となる小さなことから挑戦（Practice）すれば良いのです。そのとき、私たちは誰も教えてくれない、ただ神様だけが教えてくださる生活を送るようになるでしょう。神様は、私たちに誰も行くことができないところ、できないことを与えてくださるでしょう。これからは、世の中を生かすサミットの時刻表を待ちましょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様といっしょにいるC.V.D.I.Pの流れに乗って、次の世代と時代を生かす霊的、技能、文化サミットの祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いて
みよう

神様のみことばにあるビジョンを知ることができるみことばを
なぞって書いて、福音の挑戦の作品をつくるサミットに
向かって祈りを始めましょう。

イエス・キリストの黙示。

これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに
示すため、神がキリストにお与えになったものである。

そしてキリストは、その御使いを遣わして、

これをしもべヨハネにお告げになった。

ヨハネは、神のことばとイエス・キリストの
あかし、すなわち、彼の見たすべての事をあかした。

この預言のことばを朗読する者と、

それを聞いて、そこに書かれていることを

心に留める人々は幸いである。

時が近づいているからである。

黙示録 1：1～3のみことば

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料



いかす であい

使徒 8章 26～40節

宦官はピリポに向かって言った。「預言者はだれについて、こう言っているのですか。どうか教えてください。自分についてですか。それとも、だれかほかの人についてですか。」ピリポは口を開き、この聖句から始めて、イエスのことを彼に宣べ伝えた。(34～35)

エチオピアの宦官が、イザヤ書を読んでいました。神様によって送られたピリポ執事が、宦官に福音を伝えました。伝道者ピリポ執事に、直接、神様は語りかけ導かれたのです。一生に、たった一度のこの出会いを通して、宦官は福音を聞いて、バプテスマを受けました。神様は、福音を受ける者と、福音を伝える者に最高の関心を持っていらっしゃいます。神様は、私の友だち、先生、すべての出会いに、救いといやし、サミットの計画を持っておられます。しかし、世の中の人々は、罪、サタン、神様を離れた根本問題を知らずに生きていきます。この根本問題を解決したキリストを世の中の人々に伝えなければなりません。彼らはすでに、考え、心、たましいが病気になっています。キリストを正確にあかしして、いやされる道を知らせなければなりません。神様がこの働きのため、先に私を救ってくださいました。傷と問題を通して、神様は私をいやされた証人として、また、他の人を助ける霊的サミットとして立てられます。

私にピリポ執事とエチオピアの宦官のような福音を伝える出会いがあるように祈りましょう。神様が、現場を生かす出会いに導いてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私を救ってくださったように、すべての出会いに神様の計画があることを知って、祈るレムナントになるよう導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを 適用しよう

ピリポ執事のように福音を伝えることができるように、たった一度のその出会いのために、聖書から福音のみことばを書きましよう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料



レムナントの こくいん、ね、たいしつ

すいようび

Ⅱ列王
5章17節

そこでナアマンは言った。「だめでしたら、どうか二頭の驃馬に載せるだけの土をしもべに与えてください。しもべはこれからはもう、ほかの神々に全焼のいけにえや、その他のいけにえをささげず、ただ主にのみささげますから。

強大国アラムの国が掌握していた暗やみ時代に、神様はレムナントのエリヤをたてられました。そしてバアルにひざまずかない七千人の弟子と、次世代レムナントのエリシャをたてられました。偶像の奴隷になって、乱れていた国も回復させて、預言者をあちこちに立てられました。その中で、エリシャは最後までエリヤに従って、霊のふたつの分け前をもらい、霊的指導者としてたてられました。

ある日、イスラエルを困らせていたアラムの国の王の将軍ナアマンが、イスラエルから来た奴隷の若い娘の話聞いて、隠していた病気ツアラアト（肉が腐る病気）をいやしてもらうためにエリシャを訪ねてきました。エリシャは、顔も見ないで、ヨルダン川に七回入って洗いなさいと命令しました。将軍ナアマンは、腹が立ったのですが、病気をいやしてもらうために、もっとむずかしいことをあなたに命じられたとしたら、あなたはきっとそれをなさったのではありませんかと言った部下の話聞いて、ヨルダン川でからだを洗いました。そうしたら、ツアラアトがいやされたので、ナアマンは、主をほめたたえました。

契約の流れの中にいたエリシャは、福音で現場の刻印、根、体質を変えて、ナアマンとアラムを生かす祝福を味わいました。現場で福音によって、私の刻印、根、体質が変えられるのを見ましょう。神様が私をエリシャのような、世の中と現場を生かす祝福の証人にしてください。

きょうのみことば



読書旅行

12月号では、どんな本を読みますか。



こどもための 習慣の力

著者：イ・オヨン 出版社：チャムドルオリニ（韓国）

私の刻印、根、体質を変えるはじまりは、習慣です。私の習慣を変える力を持ちましょう。

「考えが変われば、習慣が変わり、習慣が変われば運命が変わる」ということばがあります。小さな習慣ひとつが、人生の重要な部分を変えるという意味です。問題児だと言われていた学生、精神病だと言われ独房で生活していた弁護士が、小さな習慣ひとつ変えたとき、新しい生活が始まりました。

「こどものための習慣の力」は、成功した人たちの習慣を詳しく見て、私も知らないまま過ごしている、私の刻印、根、体質について考えるため、それについての偉人たちの特別なメッセージを記録した本です。私にある良い習慣はさらに発展して長所になるように、悪い習慣はなおるように助けてくれる本になるでしょう。

12月は、「こどものための習慣の力」を読んで、現場の刻印、根、体質を変える正しい福音の習慣を身に付けましょう。

（訳者注：この本は日本語版はありません。参考までに訳しました）



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりよう
準備する資料



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私をこの時代の伝道者と呼んでくださったことを知りました。正しい契約を握って、私と現場の刻印、根、体質が変えられるようにしてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



レムナントらしくなる おくぎ

もくようび

イザヤ 60章 20～22節

あなたの太陽はもう沈まず、あなたの月ははげることがない。主があなたの永遠の光となり、あなたの嘆き悲しむ日が終わるからである。あなたの民はみな正しくなり、とこしえにその地を所有しよう。彼らはわたしの栄光を現わす、わたしの植えた枝。わたしの手で造ったもの。最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。

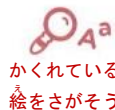
私の姿は、幼くて小さいのですが、神様はそのような私を通して神様が準備された、おおいなることを成し遂げると言われました。神の子どもには神様の働きに用いられるためのスケジュールがあります。神様が福音をあかしするために用いようとくださったタラントを見つけましょう。それは、私が得意なことを発見するという意味ではありません。神様が私にだけくださったことを見つけなければならないということです。ユダヤ人のシステムは、このことがよくできるようになっています。彼らは幼い時から両親にトラーという本で、モーセ五書を学んで暗唱するように教えられます。満13歳になると成人式を行って、両親から独立します。それと同時に、経済と時間の大切さを学びます。私には福音の契約があります。この契約が刻印されるように、みことばを聞いて黙想しながら暗唱する時間を持ちましょう。神様が私を準備される時間になるでしょう。この時間が少しずつでも積み重なれば、神様がくださるタラントを発見するようになります。神様に集中する時間を毎日持ちましょう。ユダヤ人の成人式を越えるレムナントの祝福を思いきり味わうようになるでしょう。

きょうのみことば



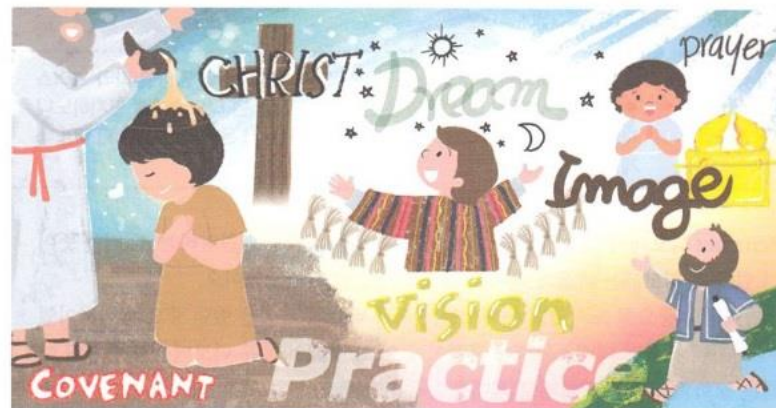
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。毎日、みことばが刻印される時間を持つことができますように。そして、福音でこの世を見る目が開きますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かくれている
絵をさがそう

わたしの一日のなかで神様に集中する時間を、いま、持ちましょう。
2つの絵を見比べて、ちがうところを5か所見つけましょう。
私の一日からどれくらいの時間を神様にささげているのかを
考えましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



れいてき しどうしゃの いのりの なかに いる レムナント

1 テモテ 1章 1～2節

わたし すぐ ぬしなる かみ わたし のぞ
私 たちの救い主なる神と 私 たちの望みなるキリスト・イエスとの命令による、キリス
ト・イエスの使徒パウロから、信仰による真実のわが子テモテへ。父なる神と 私 たち
の主なるキリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とがありますように。

レムナントのテモテの名前には「神様を敬う者、神様を賛美する者」という意味
があります。テモテは、パウロの弟子で、若かったのですが、真実な牧会者でした。
ローマ帝国の重要な都市だったエペソは、伝道者パウロが働きをした重要な
現場でした。そこにたてたエペソ教会が混乱に陥りました。そのとき、パウロは、
テモテを派遣して、混乱状態にあった教会を戻して、次世代を堅くたてるように
指導しました。

教会の中にも、福音のない偽りの教会信者が多くいます。現場では、もっとた
くさんの人が、福音がなくて苦しんでいます。そのような教会と世の中の現場を生
かすために、神様はテモテのように私を呼ばれました。世の中と教会現場を見て恐
れる必要はありません。いま私たちとともにおられるキリストの契約を握りましょ
う。礼拝とみことばの祝福を守りましょう。テモテがそうしたようにすればよいの
です。そうすれば、牧師先生や先生たちのように、霊的指導者の祈りの中にいるよう
になるでしょう。そして、福音を味わって守りながら回復する伝道者の隊列に並ぶよ
うになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私は小さいですが、テモテのような証人として
呼ばれたことを知りました。教会と現場と時代を生かすように、福音の目が開
かれますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りしま
す。アーメン



みことばを
適用しよう

テモテのように、伝道者の祈りの中で、未来の霊的指導者と
して準備しましょう。
下の手の絵の祈り文を見て、霊的指導者らしく5つの力を求める
祈りをはじめましょう。



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



エベン・エゼルの しんでんを かいふくしよう

I サムエル 7章 12節

そこでサムエルは一つの石を取り、それをミツパとシェンの間に置き、それにエベン・エゼルという名をつけ、「ここまで主が私たちを助けてくださった」と言った。

エベン・エゼルとは「石」を意味します。「助けの石」という意味で使ったりもします。エベン・エゼルの契約は、ヤコブから始まりました。彼が、兄のエサウに追われて逃げる途中で太陽が沈んだので、そこで寝ていたときのことです。ヤコブは契約の夢を見ました。そこで枕とした石をたてて油を注ぎました。そこにまた戻って、神殿をたてると心に決めて、エベン・エゼルの契約が始まりました（創28:10～22）。しかし、時が経つと、エベン・エゼルの契約をのがしてしまいました。その契約を回復した人物が、レムナントのサムエルです。契約の中には、イスラエルの民に伝えた礼拝回復と、ダビデに伝えた神殿回復の内容が含まれていました。

サムエルを通してイスラエルの民が偶像を捨てて神様との関係を回復するミツパ運動が起きました。ペリシテとの戦争も終わりました。サムエルは、その場所に石をたてて記念しながら、神様が生きておられることを覚えました。サムエルはサタンとの霊的戦争を終わらせる方法が、福音の契約を回復する礼拝と神殿建築であることを知っていました。私たちもサムエルのように、全世界を生かす礼拝をする神殿回復のために祈りましょう。神様が私たちの祈りを聞いてくださり、私たちの教会を通して働かれるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。偶像が崩れて福音の契約が伝えられるように、私を通して、全世界を生かす神殿を回復させてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様は私が礼拝をささげる教会を、地域、世界の暗やみ文化を崩す神殿として選ばれました。サムエルのように、神殿建築のための祈りを契約の右に刻みましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんびゅ 準備する資料